

【雲の観察シート】 石川県教育センター

★高いところ (7000 m ~ 12000 m) にできる雲



巻雲 (すじ雲)

夏のはっきりした繊維状の巻雲は高気圧接近で晴れ。巻層雲に変化していくようなら、低気圧の接近翌日は雨



巻積雲 (いわし雲)

高積雲に変化していくようなら低気圧 (温暖前線) が接近しており、翌日は雨。



巻層雲 (うす雲)

太陽や月に傘ができる雲。温暖前線が接近し、約 65 % で翌日は雨。

★中くらいの高さ (2000 m ~ 7000 m) にできる雲



巻積雲 (ひつじ雲)

粒ひとつひとつが大きくなり、雲が厚くなるようなら、半日ほど後、天気ははくずれる。



高層雲 (おぼろ雲)

太陽が見えなくなるほど厚くなり、低くなると天気はくずれる。



乱層雲 (雨雲)

雨が降る。雲のそこにちぎれ雲が飛ぶようになると雨は強くなる。

★低いところ (数 100 m ~ 2000 m) にできる雲



層積雲 (うね雲)

すき間のあるときは天気はくずれないが、隙間がなくなってくると、雨になる時がある。



積雲 (綿雲)

夏場太陽で地面が暖められることによりできる雲。さらに発達すると積乱雲になり、雷雨。



層雲 (きり雲)

地表近くに見える雲



積乱雲 (にゆうどう雲)

厚さが 10 km にもなる雲。雷雨になることが多い。

★そのほかの雲



傘雲 (高積雲の一種)

上空の風が強いときにできやすい。雨になることが多い。



飛行機雲

できないときや、短くすぐ消えるときは、晴れが続く。長い間残ったり、巻積雲などに発達するときは、翌日にかけて雨。